

こんにちは

日本共産党市会議員

森田 ゆみ子 です



2020/5/31号 日本共産党京都市会議員団 TEL 075-222-3728 FAX 075-211-2130  
市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> 森田ゆみ子ホームページ <http://morita-yumiko.jp/>

## 5月市会が始まりました

今年度、私が担当する文化環境委員会で審議される議案は、プラスチックゴミを減らすためにレジ袋を渡すときに有料にすることを義務化するというものです。大量のプラスチックごみで海が汚染されている今、エコバッグやマイボトルを使って一人一人が環境保護のために協力する必要があると思います。私はなるべくレジ袋をもらわないようにしていますが、仕事帰りの買い物で袋を持参していないときは、京都市の指定ゴミ袋（20L）を買って食料品などを入れて帰ります。千葉市のミニストップ（コンビニ）は市の指定

ゴミ袋をレジ袋として使う実証実験をしています。京都市の指定袋を安くする運動と共にゴミ削減の取り組みを頑張りましょう。



## コロナから暮らしと営業を守りましょう

この間、市会議員団に多くの相談や意見が寄せられました。皆さんの声を聞いた中で、様々な制度が出来たり、改善させたり、政治はどんどん動いています。その中で、特別定額給付金（1人10万円）が実現しました。コロナで収入が激減し生活苦に陥っている住民に一刻も早く現金を届ける必要があります。しかし、手続きがややこしく、給付金を希望しない方はチェックする項目もあります。その上、申請が重複しないようにオンライン申請を受け付けたデータを送付する分から抜き取る。こんな作業を72万世帯を対象に行うと言



うことでした。住民の立場にたって考えることができない安倍政権に命を預ける事はできません。どんな国であるべきか、一人一人が政治に関心を持って、行動することが問われているのではないのでしょうか？



↑ 特別定額給付金申請書に印刷されています

※生活保護受給者のみなさんへ  
自らの身分を証明する書類として、免許証やパスポートでなくても、生活保護受給者証があれば身分確認できます。

## 緊急事態宣言の解除した後は？

新型コロナ感染対策で、世界ではあり得ないことですが、多くの国民が要請だけでステイホームに協力しました。これから社会生活を再開するにあたり、新しいライフスタイルとして、3密を避けることが必要だそうです。市の教育委員会では、学校を再開するにあたり、3密を避ける為に各教室の人数を少なくして授業をするようです。

40人学級の場合、ひとりの担任がクラスを20人以下の2分割にして、隔日登校等で対応すると考えているようです。教職員の負担もさることながら、友達と一緒に登校できないことによる子ども達のストレスや、兄弟姉妹がバラバラに登校することによる保護者の負担も大変になりそうです。皆さんの声を受けとめ行政に届けます。